

日本養豚大学校



日本養豚大学校 2022年度 初級コース 第7期 受講生募集

「日本養豚大学校」は第一に、そこに学ぶ者が「養豚産業」の日本の社会における存在意義と責任を十分に理解し、自らの仕事に誇りをもてるような“哲学”の共有をめざして設立され、2013年9月に開校致しました。これまでに第6期生までの222人が全課程を修了し、受講生及びその経営者の皆様から高い評価を頂いております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年間開催を見送ってきましたが、本年度から第7期の受講生を次ページの要項の通り募集致します。

本校では、次代の養豚産業、そして地域社会を担う「人づくり」をめざしており、年3回のスクールを通して再生産可能な養豚経営を実践できるだけの“知恵”を発揮することができるよう、基礎から実践までの知識を教授します。

人材の育成こそが日本養豚継続発展の鍵となる！熱意ある皆様の応募をお待ちしております。

2022 年 6 月

日本養豚大学校 校長 志澤 勝
同 運営委員長 稲吉 弘之

日本養豚大学校

概 要	日本養豚大学校 校長 志澤 勝 同 副校長 日高良一 同 運営委員長 稲吉弘之
主 催 団 体	一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)
後 援	日本養豚事業協同組合 日本養豚開業獣医師協会 (JASV)
事 務 局	一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)
大 学 校 設 立 協 賛 企 業	中部飼料株式会社 ・ 日清丸紅飼料株式会社 ・ 日本農産工業株式会社 日本養豚事業協同組合 ・ 有限会社コマサファーム ・ 有限会社ブライピック 有限会社マルミファーム ・ 株式会社モデルジャパン 協同飼料株式会社・日本配合飼料株式会社（現フィード・ワン株） 他9企業

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本養豚協会 (JPPA) 内 日本養豚大学校 事務局 (担当: 高野・海老原)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階
TEL : 03-3370-5473 FAX : 03-3370-7937
E-Mail : jppa.office@pig-pins.com

日本養豚大学校 初級コース第7期 募集要項

※受講生は対面式での受講となります

◆ 開講時期 (予定) 天災・悪性伝染病等の影響により変更する場合があります

- ・ スクール① 2022年9月19日(月)～9月21日(水)
- ・ スクール② 2022年11月16日(水)～11月18日(金)
- ・ スクール③ 2023年2月20日(月)～2月22日(水)

※ 各スクールとも前夜に指定の宿泊場所に集合

※ スクール①～③を履修し、課題レポートを提出した者に初級コース修了証を発行します

※ 各スクールのカリキュラムについては別紙①をご参照ください

主たる開講場所

学校法人麻布獣医学園 麻布大学内

神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線「矢部駅」より徒歩4～5分



◆ 受講料

初級コース受講料 1人 165,000円(税込) 【前払い制】

※ 実習費用、講義資料および教科書代を含みます

※ 交通費および宿泊費・食費は含みません(ただし、宿泊については事務局にて一括予約)

※ 受講が確定した方には、経営者宛に受講料の請求書をお送りします

※ 1日でも参加された方への受講料の払い戻しはできません

※ 雇用保険加入各社においては、自治体のキャリアアップ助成金人材育成コース等の活用をお勧めします。

◆ 募集定員

36人

◆ 受講要件

- ① 就業半年以上の生産現場で働く後継者・従業員(現場で使う最低限の用語を理解できる方)
- ② 学歴不問 ただし学習意欲のある方
- ③ 受講対象者は、経験年数は5年以内、年齢40歳未満の方が優先となります。
- ④ スクール①～③の日程をすべて受講できる方(代替受講は原則認めません)
- ⑤ 受講生が毎回持ち帰った知識や技術について、現場でのフォロー体制が取れる方
受講者のレポート類に経営者や場長が目を通し、学んだことを現場で実践できる環境を整えていただくこと
与えられた次のスクールまでの宿題をフォローできる体制を整えていただくこと
- ⑥ コロナウイルス対策を遵守できる方(別紙③参照)



◆ 募集定員を上回った場合の受講者決定方法

参加希望者が募集定員を上回った場合には、日本養豚大学校運営委員会において下記の方法で受講者を決めさせていただきますので、ご了解をお願いします。

第1段階 1経営体からの受講者は1名とする(複数の場合は、第2締切より調整します)

第2段階 上記で絞り込めない場合は抽選とする

第1締切 2022年6月20日

※第1締切までに応募された方を優先確定

第2締切 2022年7月31日

◆ 応募締切

2022年7月31日(日)

※ 所定の受講希望書(別紙②)に必要事項を全てご記入のうえ、FAX(03-3370-7937)にてJPPA事務局まで応募ください。

※ 第1締め切りの受講受入れ結果については、6月30日頃に報告致します

※ 開催期日が近づきましたら、注意事項、宿泊場所等を記載した「受講のしおり」を各スクールごとにお送りします。

◆ 今後の養豚大学校運営の為に、広く協賛企業を募集しております。ご協力頂けますよう宜しくお願い致します。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

日本養豚大学校 初級カリキュラム（案）

※講義内容・時間割は変更となる場合があります

スクール① 9月19日～21日

※講義場所：麻布大学

第1日目	開校式	第2日目	第3日目
① 産業	養豚産業の社会的責任と役割	⑦ 管理	⑫ 繁殖
② 産業	養豚の哲学（若者に伝えたいこと）	⑧ 繁殖	母豚を知る：雌豚の繁殖生理を中心に
③ 産業	養豚経営の基本 -良い豚・良い餌・良い管理-	⑨ 繁殖	⑬ 繁殖
④ 衛生	バイオセキュリティの意義と実践	⑩ 実習	人工授精と妊娠鑑定
⑤ 管理	豚の声を聴き体温を感じる管理	⑪ 実習	⑭ 繁殖
⑥ 管理	養豚場で楽しく働くために	◆	妊娠豚の管理と繁殖障害
		課題作業	⑮ 実習
			人工授精（AI）の基礎
			⑯ 実習
			妊娠鑑定と直腸診断
			◆
			課題発表（班毎）

スクール② 11月16日～18日

※講義場所：麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
①	⑦ 衛生	⑫ 衛生
レポート報告	肥育舎の管理・トラブルシューティング	農場HACCPとGAP・5S
② 栄養	⑧ 衛生	・管理
豚の栄養と飼料の基礎	豚の伝染病と、その防疫対応	⑬ 管理
・飼料	⑨ 衛生	豚舎における換気、環境コントロールの基礎
③ 栄養	・生態	・施設
繁殖豚・肥育豚の給餌と給水	⑩ 実習	⑭ 肥育
・飼料	保定、採血補助 等	⑮ 衛生
④ 管理	⑪ 実習	・管理
分娩舎の管理・トラブルシューティング	離乳豚の解剖	⑯ 衛生
・施設	◆	PRRSコントロール
⑤ 管理	課題作業	⑰
グループシステム入門		Q&A・グループ討議
⑥ 衛生		課題作成
離乳舎の管理・トラブルシューティング		◆
・管理		課題発表（班毎）
◆		
課題作業		

スクール③ 2月20日～22日

※講義場所：全国食肉学校（1日目）・麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
※前日集合は群馬県 全国食肉学校（群馬県）にて	⑤ 衛生	⑩ 栄養
① 流通	・管理	飼料米・エコフィードの可能性と注意点
と畜の流れ（DVD視聴）	⑥ 生態	⑪ 経営
・食肉	・管理	ケールポット：出荷コントロールがもたらす利益
② 流通	⑦ 経営	⑫ 経営
安全な豚肉を食卓に届ける検査の現状	生産者講演	養豚業界で仲間をつくり一緒に前進する
・食肉	⑧ 経営	⑬
③ 流通	生産者講演	グループミーティング
枝肉から部分肉、食肉卸の原価計算と流通	⑨	⑭
・食肉	グループミーティング 修了レポート作成	総合討論・修了発表
④ 流通	◆	
部分肉の模範加工見学 調理実習・試食	課題作業	修了式
・食肉		
◆		
※ 相模原へ移動		



日本養豚大学校 受講希望書

初級コース第7期

締切：第1締切 6月20日（優先確定）、第2締切 7月31日

↓↓↓ FAX先：03-3370-7937 ↓↓↓

【受講希望者】

氏名ふりがな		性別	喫煙の有無
受講者氏名		男性・女性	喫煙・禁煙
勤務先農場・会社名			
勤務先住所	〒		
勤務先TEL		勤務先：	F A X：
携帯電話番号			
受講者年齢	歳	農場経験年数：	年
現在の担当部署			
各種サイズ確認	身長	cm	長靴
	ツナギ：	L・2L・3L・4L・5L・6L	

※ツナギは若干小さめの仕様です。希望のサイズが用意できない場合もありますので予めご了承ください。

【経営者情報】

経営者氏名			
農場・会社名			
住所	〒		
TEL		F A X：	
母豚頭数規模	約	頭	従業員数：名

【大学校派遣担当者情報】 ※派遣担当者が経営者と同じ場合、*欄は記入不要です

大学校派遣担当者名*			
住所*	〒		
TEL*		F A X*：	

*印の電話、FAX番号は、派遣担当者につながる番号をご記入下さい

【受講中の宿泊に関して】受講期間中の宿泊場所は事務局で手配致します。防疫の関係上、指定するホテルへ、スクール毎、前日(日曜日)入りで入って頂きます。詳細は入学確定後にご案内致します。

日本養豚大学校への希望（具体的に）あるいは質問などがあればご記入ください

--

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

■ 開講前に以下の症状等がある方は受講をご遠慮下さい。

- ・ 新型コロナウイルス感染症と確定診断された方。
- ・ 新型コロナウイルス感染者と濃厚接触がある方。
- ・ 37.5度以上の発熱がある方、及び発熱が数日続いている方。
- ・ 開講2週間前に海外へ渡航経験のある方。
- ・ 新型コロナウイルスワクチンの非接種の方。（基本3回以上接種とします）
体調がすぐれない方やワクチンが非接種の方は事務局までご相談ください。

■ 開講時に実施する感染対策

- ・ 各スクールの開講前日（前泊集合）に体温測定及び体調確認を行います。
※新型コロナウイルス簡易検査を行う場合もございます。
- ・ 毎日非接種型体温計にて体温測定を行います。
- ・ 施設における換気や消毒を行います。
- ・ 体調がすぐれない方は、必ず事務局までご連絡をお願いします。
- ・ マスク着用等エチケットを守るようお願いいたします。
- ・ こまめな手洗いうがい、手指の消毒をお願いします。
- ・ 密閉・密集・密接とならないようにご協力をお願いします。
- ・ 感染予防のため、施設で決められたルールを守り、当施設の指示に従っていただきますようお願いいたします。
- ・ その他感染対策にご協力をお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染症に感染された方（又は濃厚接触者の方）は、管轄する保健所の指示に従ってください。
講義参加については、保健所の指示（10日間の自宅待機や72時間の発熱がないなど）が最低条件となります。